

教育実習Ⅱ（幼稚園）の報告

広島文教大学教育学部教育学科

教授 田 中 崇 教

I はじめに

幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する学生（教育学科幼児教育コース2021年度3年次生名および初等教育学科幼児教育コース2021年度4年次生1名）を対象とした「教育実習Ⅱ（幼稚園）」（以下、本科目と略記）は、本学科指定の幼稚園で実習を行い、幼稚園教諭に必要な実践力の涵養を目的とする。本科目および教育実習Ⅲ（幼稚園）で使用する「教育実習記録」は、教育実習の意義を次の5点に集約する。

①教育の理論と実践の一体化、②基本的教育技術の習得、③発達期にある幼児の理解、④教育的人間関係における相互作用についての学修、⑤教師としての自覚の高揚

II 実施概要

1. 日程

2021年度より本科目は第6セメスタ（3年次後期）での開講科目になった。そのため、事前学修は2021年度前期から開始した。

(1) 事前・事後学修

- 第1回 2021年6月24日（木）14:50-16:20
実習に関する基本理解、実習園の確認、課題の確認 他
 - 第2回 2021年7月15日（木）14:50-16:20
実習に関する基礎理解、実習園事前訪問の確認、課題提出 他
 - 第3回 2021年7月30日（金）14:50-16:20
実習に関する情報交換、今後の予定（変更を含む）の確認 他
 - 第4回 2021年8月5日（木）14:50-16:20
実習園事前訪問
 - 第5回 2021年9月30日（木）13:10-14:40
実習に関する最終確認、事後課題の確認 他
 - 第6回 2021年11月25日（木）13:10-14:40
事後指導、「事後考察課題」の確認 他
 - 第7回 2021年12月2日（木）13:10-14:40
実習の振り返りに関するグループワーク 他
 - 第8回 2021年12月9日（木）13:10-14:40
実習の振り返りに関する討議
 - 第9回 2020年12月16日（木）13:10-14:40
実習への取り組みに関する総括 他
- その他、個別指導は適宜実施した

(2) 実習期間および実習協力園

学校法人龍花学園三入幼稚園，学校法人菜の花学園菜の花幼稚園，学校法人広島府中教会学園こぼと幼稚園，学校法人微妙学園みみょう幼稚園，学校法人武田学園広島文教大学附属幼稚園のいずれの園も，次のとおりである。

1期 2021年10月12日（月）－10月23日（金） 10日間

2期 2021年11月1日（月）－11月15日（月） 10日間

2. 2021年度における運営・指導上の特徴

2021年度も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策を適宜講じながら事前・事後学修を行った。実習も含め，本科目は予定通りに実施することができた。とりわけ，実習協力各園，本学教職センターのご支援・ご協力に感謝申し上げる。

事前学修では，2021年3月にリニューアルした本科目および教育実習Ⅲのテキストにあたる『教育実習記録』に基づき，教育実習の目的・意義，実施内容，職務上の倫理観等について講義・演習を行った。特に，第3回に開催した「実習に関する情報交換」では，前年度に実習を行った本学初等教育学科4年次生の代表者が助言者として参加した。助言者ら（4年次生）は各園の情報を提供するとともに，3年次生の質問等に応答した。実習に関する情報を媒体として，異学年間のつながりを深める幼児教育コース伝統の独自の取り組みとあってよい。

また，先述の通り，今年度から第6セメスタでの開講となったため，保育実習Ⅰ（第5セメスタ）が先に実施されることになった。従来と実施順序が変更になるが，本科目の事前学修は保育実習指導Ⅰbと同時期に実施されることを利用し，様々な点で統一的に指導することを試みた。具体的には，実習関係書類や学修課題，指示事項の統一である。従来は，異なる時期に事前学修がなされていたため，学生は本科目と保育実習Ⅰを整理して学修内容等を理解していた。とはいえ，学修内容によっては区別しにくいとの声が寄せられていた。今年度からほぼ同時期に事前学修がなされるようになったため，円滑な学修内容整理をめざして，指導文言，事前・事後学修内容や授業シートに加え，「指導計画案」「健康管理カード」「行動記録表」を新たに統一した。

事後指導での新たな試みは，本科目は保育実習Ⅰのみならずその後の実習（保育実習ⅡおよびⅢ，教育実習Ⅲ）や教職実践演習を見据えたつながりのある系統的・連続的指導体制の構築である。とりわけ，例年行ってきた実習報告会（討議）の形式を幼児教育コース関係のすべての実習を通じて統一することができた点があげられる。この取り組みによって，受講学生らは各実習での学修を円滑に進めることができるだろう。2021年度時点では途上段階であるため，次年度の学修（教職実践演習）までの様子を今後注視したい。

Ⅲ 成果と授業改善に向けた課題

本年度も本科目を完遂できたことが大きな成果といえる。他方で，慌ただしい状況下であったとはいえ，関係機関からの連絡不足，特に幼稚園を管轄する機関と大学を管轄する機関との情報に不統一があり，本学というよりも，受講学生とその保護者，実習園と幼児・保護者らが翻弄された。幼稚園免許必修科目であるというある種の圧力があるから，受講生や園は何よりも優先して対応に奔走した。とはいえ，指定の実習期間を充足することが主たる目的になり，幼児理解や業務理解は十分に深めることができたかは，疑問がある。

不透明な状況にあるからこそ，受講学生や実習園が比較的余裕をもって対応できるような期間を設定し，速やかに指示を出してゆく必要があるだろう。